

新型コロナ問題学習会 間こつ、話そつ コロナ対応交流会



あつまれ!! 福祉・保育職場で働くなかま!

6月12日、「間こつ、話そつ コロナ対応交流会」をオンラインで開催し、60人以上の参加がありました。この取り組みは全労連の組織拡大新4カ年計画にエントリーして、福祉保育労と東大阪労連が共同して進めてきたものです。

東大阪市での組織化をめざし、福祉施設や民間保育園などへアンケートや署名などを送付、回答があった事業所との懇談などを進めてきました。当初は、実行委員会を立ち上げる予定だったのですが、それも難しくなりました。しかし、コロナ禍でも事業所などへの対話を粘り強く継続。その中で

当日は緊急事態宣言のため会場が使えなくなり、オンラインのみで開催となりました。総合社会福祉研究所の石倉康次理事長がコーディネーターとなり、阿部勇さん(福祉保育労ひびき福祉分会)、乾みや子さん(どんぶり福祉会)、人専務理事)、中島素美さん(城東特別養護老人ホーム施設長)、

島村一弘さん(福祉保育労大阪地方法本部書記長)の4人で、パネルディスカッションを行いました。報告の中では、コロナ対応の自治体による違い(東大阪市と大阪市)、保育制度の異常さ、福祉労働者の劣悪な処遇による人材不足などが明らかになりました。

今後も福祉保では、オンライン学習会への参加のあった東大阪の施設訪問や、組織内でコロナ問題学習会のDVD上映などを行って組織拡大を進めていきます。

すべての職場からすべての組合員から

必要生計費試算調査の提出を!

大阪労連が組織の力を集中している「必要生計費試算調査」の締め切りを7月末まで延長していきます。

6月18日には、目標達成に向けた意思統一のために、必要生計費試算調査推進委員会が国労大阪会館で開催されました。ここでは、「組合役員構成が大切」「目標にこだわったからこそ」「職場の名簿を確認して未提出者に連絡し、積み上げた」「組合員数以上集めた単組も」など、各組織の経験が交流されました。そして、①単なる調査運動とせず、組合員との総対話を追求する②延長された1カ月間で、底上げのために、何をやるのか、何が出来るかを目標達成に向けて議論していく③生計費を自らの手で示していく運動の意義を伝え、必要生計費試算調査の結果に今後の賃金

闘争などで確信が持てるようにしていく④すべての組織、すべての組合員の参加で、全体で頑張ったことを共感できるものにしていくことなどが確認されました。

会議を受けて、「提出のない職場に調査用紙を再配布する」「職場訪問を計画する」など、目標や対話にこだわり、最後まで広げる取り組みが買われています。

組合員のみならず、賃金闘争の根幹となる生計費を自ら示し、今後のたたかいを共有できるように調査用紙の提出をお願いします。

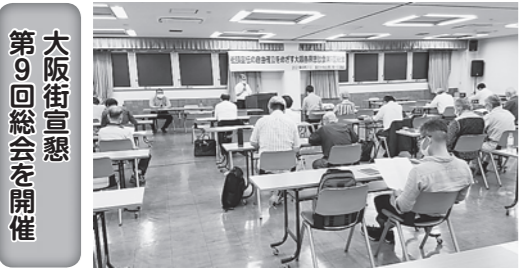


ろーれんフラッシュ



第27回安全衛生基礎講座 2日間で80人が参加

大阪労働安全センターは6月12日と19日の2日間、第27回安全衛生基礎講座をオンラインと併用して開催。「学ぶことの良さを実感した」「あらためて安全衛生の大切さが学べた」という感想が参加者から寄せられました。



大阪街宣懇 第9回総会を開催

6月21日、大阪街宣懇が第9回総会を開催し、35人が参加。自由法曹団元事務局長の西田弁護士は講演で、「マンションのビラ配布で、『司法は、集合ポストは合法、ドアポストは違法』と判断しているが、委縮は不要。しかし、本来ビラ配布は原則自由であるべき」と司法判断を批判しました。

コロナ禍でも闘うからこそ 組織拡大の条件が広がる



国鉄労働組合 大阪地区本部 執行委員長 辻 将城さん

JR西日本は、コロナ感染拡大による減収・赤字の中、「企業存続」「雇用確保」と倒産や解雇が差し迫っているかのような大宣伝を連日行うとともに、「会社あっての労働者、儲ければ賃金は上がる、赤字で賃上げしたら倒産する」とした思想攻撃の結果、「賃下げやむなし、雇用されるだけまし」と考える労働者がつくられています。さらに多数派組合が「労使でこの難局を乗り切り、企業と雇用を守る」と賃下げに合意する中、ベアゼ口をはじめ、一時金の大幅削減を許すことになりました。1兆円を超える内部留保については、

「現金でない」として、賃上げを拒否する一方、株主配当に使うなど、株主優先、労働者犠牲の経営を一層強めています。さらに、コロナ禍を「千載一遇の大チャンス」と捉えて、無人駅の拡大や「みどりの窓口」の削減、ローカル線廃止を狙うとともに、JR発足時、約5万2000人いた労働者が34年間で約2万7000人まで減らされています。そのため職場では、年休抑制など労働強化が横行するともに、ワクチン休暇などに伴う賃金100%補償や安全衛生などの要求については、応えようとしません。

コロナ禍での賃金・労働条件の切り下げに対して、「仕方ない」とあきらめる一方、会社や闘わない組合に不満が高まる中、多数派組合を脱退

し、組合未加入の労働者が増えるなど、これまでにない変化と矛盾の深まりを示すものとなっています。そういった中、展望をもって加入を訴え続けている国労の支部では、組織拡大を勝ち取りました。このことは、コロナ禍でも闘いによって、組織拡大を前進させる条件がますます広がっていることを示しています。

コロナ危機を利用して、これまで以上に儲け最優先の経営が、労働組合を労資協調へと変質させる策動を強める中、原則に立ち返り、賃金とは何か、要求とは何かなど組合全体で議論を深め、賃金・労働条件を改善させるためには、労働組合が戦闘的に闘う以外ないことをすべての労働者に拡げて、闘いを強化していきます。

大阪革新懇 新型コロナ対策のための 情報共有サイトを特設

大阪革新懇では、国と大阪府に新型コロナ対策の検証と抜本的な強化を求める共同運動を進めています。新型コロナ禍の

現場から VOICE!

情報 データは info@osaka-rouren.gr.jp まで

新型コロナウイルス/大阪 情報共有&発信サイト

現場からVOICE! コロナに負けない大阪をつくる!

coronanimakenai.jp 検索

アクセスはこちら

国労大阪会館を 研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



大阪からすべての争議をなくそう 争議支援総行動

6月24日、大阪労連と大阪争議団共闘会議の共催で、大阪争議支援総行動が行われ、150人が参加しました。早朝から淀屋橋と裁判所前で宣伝を行ったあと、9カ所の社前行動や企業、自治体、法人への要請行動に取り組みました。



国民平和大行進

6月30日から7月7日まで、国民平和大行進が大阪へ。府内行進や自治体要請などが行われました。雨の中の行進も多かったですが、参加者は元気に歩き、兵庫へ引き継ぎました。引き続き核兵器廃絶に向けて署名などの取り組みを強化していきましょう。